

群馬県立がんセンター

消化器外科通信

Vol.2

ロボット支援下手術 da Vinci(ダビンチ) 紹介

消化器外科部長 尾嶋 仁

da Vinci によるロボット支援手術は、2018年4月より消化器外科（食道癌、胃癌、直腸癌）で保険適応となりました。

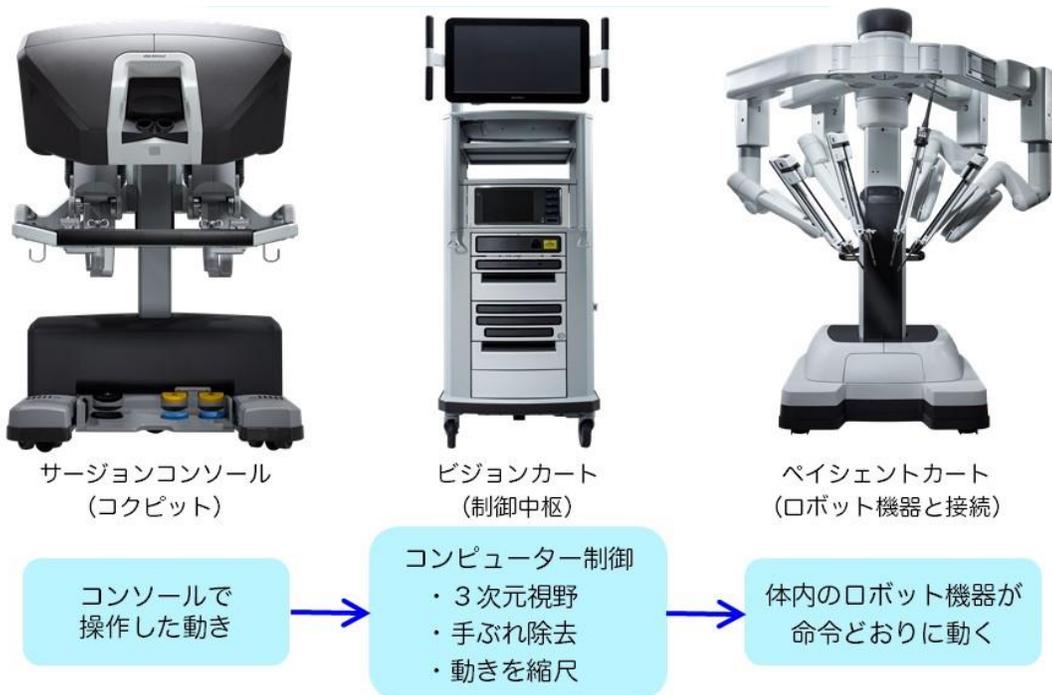
群馬県立がんセンターでは、最新型の手術支援ロボット da Vinci Xi システムを導入、2019年9月より消化器外科で da Vinci 手術を開始しています。

da Vinci Xi システムの構成

執刀医が操作するサージョンコンソール（コックピット）、精密な動きが可能な手術機器を装着するペイシェントカート（患者さんに直接接触して手術する部分）、コンピューターの中央集積回路（CPU）に相当するビジョンカートの3つの部分から構成されています。

サージョンコンソールは患者さんから離れたところ、4本の腕を持つペイシェントカートは患者さんの傍に配置されます。

執刀医が指令装置であるコンソールに座り、操作レバーや操作ペダルを操作すると、その動きはコンピューターに伝わり、さらにコンピューターは実際に手術を行うロボットの手術機器を動かし手術が進行していきます。



多関節機能



モーションスケーリング機能



© Intuitive Surgical

da Vinci の利点

ハイビジョン 3D 画像によるカメラを操作。

カメラのブレが無い。

鉗子のブレが無い（手振れ防止装置）。

細かい操作が可能（多関節、モーションスケーリング機能）。

食道癌

群馬県立がんセンターでは、2009年より左側臥位完全鏡視下食道切除術を開始、2015年より胃管作成を鏡視下補助で開始、2016年より腹臥位鏡視下食道切除術に変更し、2019年9月までに182例の手術を施行しています。2019年10月より da Vinci を用いたロボット支援手術を行っています。他施設では、反回神経麻痺の減少がデータで示されています

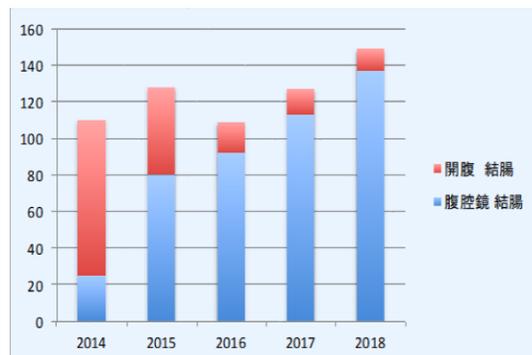
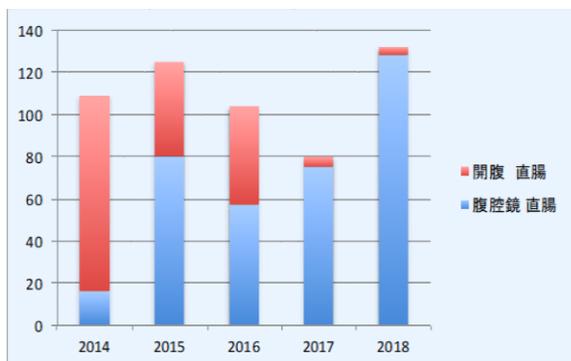
当センターでは、食道癌手術症例は全例 da Vinci で行っています。

胃癌

現在、ガイドラインでは早期癌が腹腔鏡手術の対象になっています。

2020年1月より進行癌において da Vinci を用いた手術を予定しています。

直腸癌



現在、大腸癌の90%以上は腹腔鏡で手術を行っています。
直腸癌は既に da Vinci 手術を行っています。



消化器外科外来担当表

月	火	水	木	金
消化器外科医師	消化器外科医師	尾嶋 仁	尾嶋 仁	尾嶋 仁
午前/検診・人間ドック後の要精密検査のみ	午前/検診・人間ドック後の要精密検査のみ	深井 康幸	深井 康幸	深井 康幸
		持田 泰	持田 泰	持田 泰
		小澤 大悟	小澤 大悟	小澤 大悟
		石田 隆志	石田 隆志	石田 隆志

● 診療予約等につきましては当院ホームページをご覧ください

URL <http://www.gunma-cc.jp>

TEL : 0276-38-0771 (代)

予約専用電話 : 0276-38-0762